

はじめに

北海道では、道民のみなさんが心身ともに健康でこころ豊かな生活を送ることができるよう、平成13年3月に、計画期間を平成13年度から平成22年度までとする「すこやか北海道21～北海道健康づくり基本指針～」を策定し、平成15年5月からは、この基本指針を健康増進法に基づく「北海道健康増進計画」と位置づけ、健康づくりを推進してまいりました。

その後、平成18年3月に、目標の達成度などの中間評価を行い、北海道健康増進計画「すこやか北海道21」改訂版を策定しました。

平成20年3月には、生活習慣病の予防に着目しメタボリックシンドローム有病者や予備群の減少などを指標項目として追加するとともに、医療計画などと整合性を図るため、終期を平成24年度に変更し、生活習慣病予防対策に取り組んでまいりました。

今回、北海道健康増進計画「すこやか北海道21」が終期を迎えるにあたり、目標値の達成度の評価を行うとともに、次期計画の基礎データとして活用するため、平成23年11月に、「健康づくり道民調査」を実施しました。

本報告書は、「平成23年度健康づくり道民調査」の結果について、その概要をまとめたものです。

道民のみなさんの自主的な健康づくりや生活習慣病予防のため、この報告書が市町村をはじめ関係団体などの多くの方に御活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査に御協力をいただきました道民のみなさん、関係者の方々に心から感謝を申し上げます。

平成24年10月

北海道保健福祉部長 白川 賢一